

現行計画の取組状況について

(1) 「短期再編プログラム」の進捗状況

「町田市公共施設再編計画」では、「短期再編プログラム」として、2018～2026 年度までの 9 年間における再編等に関する具体的な取組を掲げています。取組の進捗状況については、2024 年度末時点で、全 59 の取組中 32 の取組が完了しています。また、2026 年度末時点で、5 つの取組を除いて完了できる見込みです。

学校統合など、具体的な再編・整備等の推進段階へ進展してきている中で、市民、市内関連団体、民間事業者など、様々な方と対話を重ね、反対意見等を含め様々なご意見を伺いながら取組を推進しております。

施設機能分類	No.	取 組	完了済	2026 年度完了予定
A 庁舎・窓口施設等	1	機能再配置案の検討・策定	○	○
	2	機能再配置案に基づく管理運営手法の検討・実施	○	○
	3	市庁舎内の有効活用		○
B 集会施設	4	機能再配置案の検討・策定	○	○
	5	機能再配置案に基づく管理運営手法の検討・実施		○
C 図書館	6	施設再編案の検討・決定	○	○
D 学校	7	適正規模・適正配置実行計画の策定	○	○
	8	複合化の検討	○	○
	9	大規模改修・建替えの実施		○
	10	プール等付帯施設集約の検討及び実施		○
E 保育園・子ども発達センター	11	民間活力の導入(子ども発達センター)		×
F 学童保育クラブ	12	複合化・改修(校舎内移転)の実施	○	○
G 子どもセンター・子どもクラブ	13	子どもクラブの整備	○	○
H 高齢者福祉施設	14	事業内容と職員体制の見直し	○	○
I 障がい福祉施設等	15	民間活力の導入の検討(ひかり療育園)	○	○
	16	耐用年数到来に向けた検討(はるかぜ)		○
J 生涯学習施設	17	生涯学習センターの役割や事業内容の見直し	○	○
	18	管理運営手法の方針決定	○	○
	19	陶芸講座の方向性の検討・決定	○	○
K 保健施設	20	地域での健診実施検討	○	○
	21	施設の有効活用	○	○
L 文化ホール施設	22	収益性向上に向けた検討・実施		○
	23	施設の活用検討・実施		○
	24	市民ホール大規模改修実施検討	○	○
M 美術館・博物館等	25	(仮称)国際工芸美術館開館		×
	26	2つの美術館の一体的管理運営手法及び運営者決定		○
	27	博物館の閉館・収蔵品の移管及び利活用	○	○
	28	文学館の存廃の検討・決定	○	○
	29	文学館の管理運営手法の方針検討・決定	○	○
	30	自由民権資料館の施設運営手法の見直し	○	○
N スポーツ施設	31	既存施設や遊休地の活用	○	○
	32	学校温水プール開放制度見直し	○	○
	33	総合体育館の改修		×
	34	室内プールの改修及び温浴施設の整備	○	○
O 防災施設	35	災害備蓄倉庫施設修繕計画の検討・実施		○
	36	公共施設の余剰スペースや民間倉庫の情報収集・活用		○
	37	消防器具置場の建替え		△
P その他集会施設	38	支援制度のあり方検討		○
Q その他教育施設	39	教育センターの機能とスペースの見直し		○
	40	旧忠生第六小学校の活用検討・実施		○
R その他高齢者福祉施設等	41	デイサービス、在宅サービスセンターのあり方の検討		○
S その他展示等施設	42	計画に合わせた方向性の検討(フォトサロン)		○
T 市営住宅	43	『町田市営住宅等長寿命化計画』の実施		○
U 医療施設	44	大規模改修に向けた検討		○
V レクリエーション・観光施設	45	大地沢青少年センターの民間活力の導入	○	○
	46	ひなた村の民間活力の導入	○	○
	47	七国山ファーマーズセンターの活用		×
W 産業系施設	48	町田新産業創造センター施設複合化	○	○
	49	プラザ町田運営効率化		○
	50	町田ターミナルプラザ運営効率化		○
X 供給処理施設	51	熱回収施設等の整備・運営	○	○
	52	資源ごみ処理施設の整備		○
	53	排水浄化センター改修	○	○
	54	境川クリーンセンター(し尿処理棟)移転改修	○	○
	55	境川クリーンセンター(旧管理棟)活用	○	○
Y 下水道施設	56	アセットマネジメントの推進		○
Z 駐車場・自転車等駐車場	57	自転車駐車場更新を見据えた指定管理者選考等	○	○
	58	原町田一丁目駐車場運営コスト削減	○	○
	59	原町田一丁目駐車場建替え		○
完了(予定)取組(○)数の合計 (割合)			32 (54.2%)	54 (91.5%)

参考:主な取組事例紹介

C 図書館(施設再編案の検討・決定、民設民営の図書コミュニティ施設への転換等)

2019年2月に策定した「町田市立図書館のあり方方針」を具現化するために、「図書館サービスの見直し」、「図書館資源の再配分」、「図書館の運営体制の確立」の3つの観点で構成される「効率的・効果的な図書館サービスのアクションプラン」を2020年2月に策定しました。同プランにおいて、特に「図書館資源の再配分」の中では「施設再編・サービス拠点配置の適正化」に取り組むことにしています。

この取組として掲げる「鶴川図書館と鶴川駅前図書館の集約」については、2025年3月末で鶴川図書館の公立図書館としての運営を終了し、2025年度からは、2023年11月に設立された「図書コミュニティ施設運営団体」による民設民営の図書コミュニティ施設「つるぼん」として運営を開始しました。

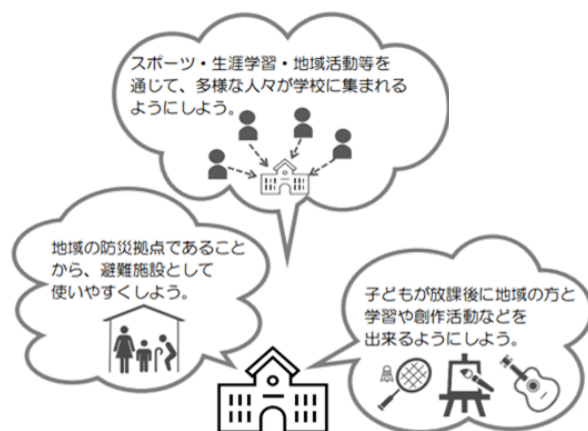


D 学校(適正規模・適正配置実行計画の策定、大規模改修・建替えの実施)

2021年5月に「町田市新たな学校づくり推進計画」を策定し、市立学校における教育環境、生活環境づくりや放課後活動の拠点づくりに加え、市民生活の拠点づくりも目指していくことや、中長期的な小・中学校の統合等の方向性を示しました。

市民生活の拠点づくりについては、これからの学校は学校教育の場や身近な避難施設としてはもちろん、地域にお住まいの方々がふだん使いできる「地域活用型学校」と位置づけ、市の公共施設の一つとして広く市民が利用できる場としていく方向性で検討を進めています。

具体的には、校庭や体育館、特別教室に加え、新たに整備するコミュニティルームについて、市民利用を前提とした設計とし、学校を地域活動の場、新たな地域の拠点として、より利用しやすい場所としていく方向で取組を進めています。



▲「地域活用型学校」のイメージ

Q その他教育施設(教育センターの機能とスペースの見直し、建替え・複合化等)

教育センターを建替えて、子ども・子育てに関する様々な支援を切れ目なく受けられ、また、地域にお住まいの高齢者の方々など、多くの市民の皆さまが利用できる複合施設の整備を目指しています。

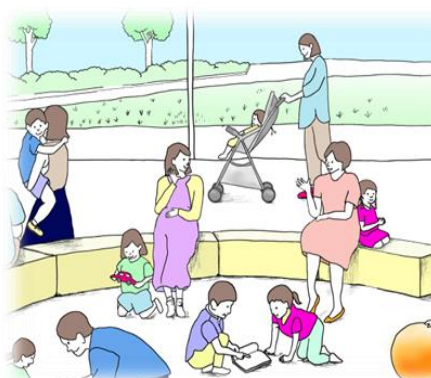
具体的には、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行う子ども家庭センターと、虐待対応を行う都立町田児童相談所を複合化するとともに、子どもの発達相談や療育支援等を担う子ども発達支援センター、教育・就学相談、不登校児童・生徒の支援を行う教育センター、緊急時の小児科等を新施設に設置することで、「子ども・子育て支援を切れ目なく受けられることができる施設」を目指します。

併せて、敷地内の余剰地を有効活用し、地域の利便性や教育に対する付加価値の創出に資する民間サービスを誘致することで、「地域に開かれた日常的に使える心地よい居場所」を目指します。

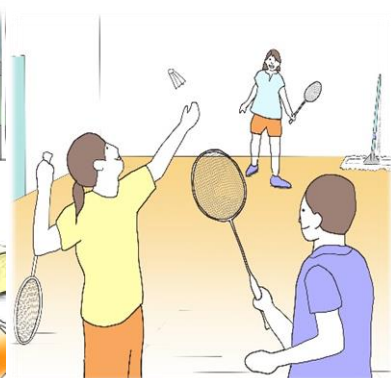
図 新施設の利用イメージ



▲ 地域みんなで話し合える場所がある



▲ 親子で交流や相談ができる



▲ 活動を楽しむための場所が借りられる

(2) 数値目標に関する評価

「町田市公共施設等総合管理計画(基本計画)」では、計画期間の 2055 年度までにかかる公共施設の更新費用を、計画改定時点において支出している更新費用(年平均約 73 億円)の水準内に抑えることを目標と掲げ、施設の長寿命化や、PPP/PFI の導入、施設総量の圧縮等に取り組むこととしています。

この公共施設の更新費用に関する数値目標に対する実績としては、2016 年度から 2023 年度までの 8 年間の平均が約 107 億円と、目標水準の約 73 億円を約 34 億円上回っています。

これは 2021 年度に、町田市バイオエネルギーセンター(約 279 億円)や、町田第一中学校(約 43 億円)や、野津田公園の町田市立陸上競技場バックスタンド(約 41 億円)などの建て替えが集中したことが影響しています。

この 2021 年度を除いては、各年度の推計値を実績値が下回っていますが、老朽化を原因として運営に支障が生じる施設もあることから、適切な時期に必要な更新を実施できていないことの影響も考えられます。

今後は、物価高騰などの影響により、更新費用の更なる増大が見込まれます。

図 公共施設の更新費用に関する推計と実績

